

授業概要

本講義では、人間の「こころ」に関する理解を深めることを目的とし、心理学の基礎的な知見について、具体的な研究事例を紹介しながら講義する。講義内では、簡単な実験や調査を体験する時間も設ける。心理学とはどのような学問であり、どのような研究手法を用いて何を明らかにしてきたのかについて理解を深め、心理学研究の面白さや奥深さを感じてほしい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：心理学とはどのような学問か
第 2 回	「心」を科学する方法
第 3 回	認知心理学①：知覚
第 4 回	認知心理学②：記憶
第 5 回	認知心理学③：問題解決
第 6 回	発達心理学①：認知発達
第 7 回	発達心理学①：青年の心理
第 8 回	パーソナリティ心理学①：パーソナリティの分類
第 9 回	パーソナリティ心理学②：パーソナリティの理解
第 10 回	社会心理学①：自己と他者の関わり
第 11 回	社会心理学②：社会・集団の影響
第 12 回	臨床心理学①：心の調の捉え方
第 13 回	臨床心理学②：行動療法・認知行動療法
第 14 回	臨床心理学③：コミュニティアプローチ
第 15 回	まとめと振り返り
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- 心理学研究がどのような方法で行われているのかを理解することができる。
- 心理学の理論が日常生活の中で経験する事柄とどのように関連しているかを理解することができる。

履修上の注意

授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。
他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。

予習・復習

予習：指定した教材に目を通し、疑問点やもっとよく知りたい点を考えておくこと。
復習：授業で学習した内容について、分かった点やまだよく分からない点をまとめておくこと。
(予習や復習を通じて出てきた疑問点については、授業内でフィードバックを行う)

評価方法

学期末試験 60%、授業内レポート 40%

テキスト

教科書は特に指定せず、毎回の授業時に適宜教材を配布する。